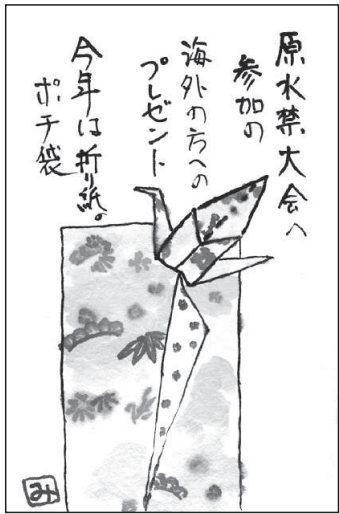


おすすめ
群馬・高崎市
鈴木泰子

近くの県立公園で週一回ラジオ体操をしています。日差しがきつくなり、大きなケヤキの木の下で体操を始めたところ、手の親指より太い緑色の虫が這っていて、体操にきいてた人と天蚕(てんさん)だろうと話しました。



兵庫・加古川市 柳井みさ子(72)

テーマ

お墓の掃除は1人で

島根・松江市 村穂江利子(58)

私はお墓の掃除が好きです。家族総出のお墓参りや掃除のようすにも出会いますが、私は9割方1人で行っています。1人で行くようになって最初のころ、ご先祖様や今は亡き母、義母、義父、祖父母にあれこれ思

だと感動したそうです。「共有したいので、もらつてくださーいね」と手紙が添えてありました。

不断の訓練

福岡・大牟田市 渡辺隆子

熊本地震の被害が明らかになり、大変な状況がわかってきました。

私が住む大牟田市は近隣です。今までで一番強い揺れで、恐怖を感じました。

私はその時、30〜40人の子どもたちと一緒にいました。地震アラームと同時に、子どもたちは頭を抑えて机の下に潜り込みました。その行動を見るにつけ、不断の訓練

一人で行ってみました

楽しみがわいてきます。今は、それまでの時間を精一杯生き切りたいと思つているところです。

大型書店に

香川・坂出市 うどん(32)

先日一人でTUTTA INにフラット行つてみると、平日にも関わらずたくさんの人がいました。先日もいつかは向こう側の人になります。その時には、今度はだれが掃除してくれるかなと妙な

最近流行りのガチャガチャコーナーには若い学行部数が100万部割れ

の重要性を実感しました。

命をつなぐ

宮城・塩釜市 高橋和子(67)

昨夏は飼育した28羽のアゲハが次つぎ羽化し、そのたびに3人の孫と大騒ぎしました。

今年も期待しましたが、庭のミカンに幼虫は数匹だけ。ある日、幼虫をくわえたウグイスを見て納得。チュンチュンと集まるスズメたちも共犯(主犯?)のようです。毎日の「ボーホケキヨ」

川柳

・リスペクトされてた国が武器輸出
東京・板橋区 倉上桂子(90)
・さあここで一句どうぞと言われても
島根・松江市 加茂京子

が今は「ごちそうさま」に聞こえます。今年はアゲハの羽化を見られそうにありませんが、懸命に命をつなぐ鳥の姿を見守っています。

一目瞭然

東大阪市 鐘築昌子

8月8日号4面の「法案への各政党の態度」を見れば一目瞭然です。どの政党が私たちを苦しめ、憲法違反をしているのか。皇室典範の改悪は、国際的に見ても恥ず

忘れたところに

愛知・蒲郡市 きんかん(1)

2回目の圧迫骨折で1カ月半入院していた高齢の知人。布団を干したときに骨折されたそうでした。私も先日、床にあるものを取ろうとしたときにギックリ腰を起こし、病院でレントゲン写真を撮りました。骨は折れていないということですが、骨粗しょう症の治療のため、月一回静脈注射を打っています。

若いときと違い、ギックリ腰と言っても骨折の心配もあるんだとつくづく思いました。これから一つひとつの動作に気をつけたらと思います。忘れたところにギックリ腰を起こしているの

原稿募集

☆テーマ：今、聴きたい音楽／家事、手抜きのスヌメ／1人で行ってみました投稿や作品をお待ちしています。また、紙面への要望・意見などお寄せください。投稿は300字前後、短くす

ハート無いトランプなのにと笑いこめヒロ氏講演会場一つに 茨城県 吉川 節子

《評》「憲法くん」で知られる芸人松元ヒロ氏。ゲームのトランプにはハートがあるのに、爆笑しつつ溜飲を下げている景が目に浮かぶよう。

この時期の新聞配達果報ありあちらでキュウリこしらでモロコシ 三重県 加藤 純子

《評》日頃のよきお付き合いを浮かばせる楽しい一首。夏野菜の具休名に喜びいっぱい。

三井寺の九条の碑に会いたくて夫と出かけた青葉の湖畔 愛知県 太平 宣子

《評》「会いたくて」に籠る熱い思い。碑の裏面にはユネスコ憲章前文「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和の砦を築かなければならない」が刻まれています。

九条のスタンディングの呼びかけにバスの中から手を振る四人 埼玉県 野田 泰子

《評》嬉しい反応に元気をもらった様子。《作品募集》ハガキなどで編集部「あなたも短歌」係まで。作品は未発表のものに限ります。

ボケないで自分の足で歩きたい来年も行く平和行進 群馬県 大山 友子

《評》今年参加して元気を得たのでしよう。「行く」と断定しているところが力強く素敵です。七夕の短冊にわが子の願い知る「れんくんがせんせいにおかれませんか」ように

《評》級友を思いやる子息の優しさに感激。その昔吾が小学校へ双葉山を土俵開きに招きし歴史 和歌山県 矢野 淑枝

《評》双葉山が時代を感じさせます。戦死せし父の葬儀に出ぬ姉と式場ではしゃぐ七歳の我 東京都 勝間田喜久代

《評》姉妹の対比に胸を打たれます。雨音がリズム良く打つ静かな夜明日の歌会

の短歌に悩む 祖母とわれ明治と昭和の違いあれど同じ二十六年生まれ 三重県 谷 美和子

和歌山県 川村さつき

おてんき てんきII RANKO (2061)

